

令和7年度

事業計画

社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会

(1101)法人運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	法人運営事業	法人運営全般	第1層(全市)
収入(円)	会費	寄附金	その他	前期末繰越金	計
	3,200,000	50,000	5,984,000	2,004,000	11,238,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他	計
	8,193,000	1,338,000	578,000	1,129,000	11,238,000
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、法人運営				
事業計画	①毎月会長に収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保 ④重層的支援体制整備事業の検討、それに係る研修(サマーセミナーの開催)職員の資質向上を目的とした研修の実施。				
事業目標	経営基盤の強化を図るとともに、福祉サービスの向上を図る。また、住民や、福祉関係者等と共に地域の福祉課題・生活課題の解決に取り組む。地域福祉活動計画策定準備を引き続き行う。地域福祉活動計画について、勉強会を開催し、勝山市に合った計画の模索を行う。				
見込み成果	①速やかな経営状況の判断 ②支援を必要とする方に適当な福祉サービスの提供 ③地域でいつまでも生活をしていくことができる地域づくり				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1102)退職積立金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	退職積立金事業	退職積立金事業	第1層(全市)
収入(円)	各階層より	その他の収入	退職預け金差益		計
	4,982,000	5,676,000	1,921,000		12,579,000
支出(円)	退職給付預け金	退職給付支出			計
	4,982,000	7,597,000			12,579,000
事業概要	全国社会福祉協議会が運営する「全国社会福祉団体職員退職手当積立基金」に加入し、退職金として積み立てる				
事業計画	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金 掛け金を納付する 掛け金 4,978,543円 退職者1名に対し、退職金を支払う				
事業目標	事務処理を円滑に行う				
見込み成果	安心して働き続けられる環境を提供できる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1103)社会福祉事業基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	社会福祉事業基金運営事業	社会福祉事業基金運営	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	受取利息			計
	50,000	337,000			387,000
支出(円)	社・基金積立金	法人運営事業へ			計
	50,000	337,000			387,000
事業概要	社会福祉事業寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業計画	社会福祉事業寄附金 受け入れ <u>5件 50,000円</u>				
事業目標	安定的な収益体制の構築、金融商品の低金利で基金の利息が見込めないため、寄付者の意思に沿った有効的な利用の検討				
見込み成果	寄付者の意向を活かせる基金の活用				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1104)ボランティア基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	ボランティア基金運営事業	ボランティア基金運営	第1層(全市)
収入(円)	寄附金収入	受取利息			計
	3,000	20,000			23,000
支出(円)	ボ・基金積立金	法人運営事業へ			計
	3,000	20,000			23,000
事業概要	ボランティア基金寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業計画	ボランティア基金受け入れ <u>1件 3,000円</u>				
事業目標	安定的な収益体制の構築、金融商品の低金利で基金の利息が見込めないため、基金の有効的な利用の検討				
見込み成果	寄付者の意向を活かせる基金の活用				
R6振り返り (課題)	低金利のため、基金利息が見込めない。基金の有効的な利用の検討				

(1201)地区社協活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市補助金				計
	4,620,000				4,620,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	154,000	51,000	4,415,000		4,620,000
事業概要	住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する				
事業計画	まちづくり会館、コミュニティセンター単位を1地区社協として、会館やセンターを拠点に地域福祉活動を推進する。10地区に地区社協が設置されているが、それぞれの地域の特性に応じ、柔軟に事業を展開していく。市社協はその後方支援にあたる				
事業目標	①月1回のコーディネーター会議の開催(各地区が開催を持ち回りする) ②地区や、地区社協からの相談支援(同行支援もあり) ③地区や地区社協の要請に応じて、各種研修会の開催 ④市社協職員の地区担当制を実施				
見込み成果	後方支援、伴走型支援を続けることで、地域全体の問題解決力の底上げが期待できる。地域での福祉の拠点を強固にし、地域課題を地域で話し合い、解決していくことができる。市社協全体で地域に関わることができ、職種に関わらず地域福祉推進に取り組むことができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1202)給食サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金	利用者負担金			計
	3,308,000	1,313,000			4,621,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	600,000	871,000	3,150,000		4,621,000
事業概要	65歳以上の①一人暮らし②高齢者のみの世帯③高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する				
事業計画	地区社協を中心に事業を実施する。市社協はコーディネータの相談役やボランティア活動者に必要な研修の実施。市の受託事業に当てはまらない方にも提供できるような仕組みづくり。生活支援体制整備事業の導入に伴う給食サービスの在り方、活動等の研究 必要に応じて各地区に制度説明を行い、必要としている高齢者への利用につなげる				
	地区社協名	実施予定日	協力者		
	勝山(A班)	毎月1・3木曜日	いずみの会(ボランティア団体)		
	勝山(B班)	毎月2・4木曜日	いずみの会(ボランティア団体)		
	平泉寺	毎月15日・30日	個人ボランティア、さわらび会等、地元業者		
	猪野瀬	毎月2・4土曜日	猪野瀬地区給食サービスボランティア(ボランティア団体)		
	遅羽	毎月1・3木曜日	さわらび会、縄文の里		
	村岡	毎月2・4火曜日	さわらび会、縄文の里		
	野向	毎月2・4土曜日	さわらび会		
	北谷	毎月1・3火曜日	北谷コミュニティセンターよろっさ		
	荒土	毎月1・3木曜日	さわらび会		
	鹿谷	毎月1・3金曜日	地元業者(魚屋)、個人ボランティア、さわらび会等		
	北郷	毎月1・3水曜日	縄文の里		
事業目標	感染症対策を施し、手作り弁当の継続を図る。事業の目的の理解をすすめ、利用者の拡大、作り手発掘				
見込み成果	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				
R6振り返り(課題)	給食サービスの申請・配布で協力をいただいている民生委員への説明を地区に出向いて行ったところ、制度理解から民生委員の活動が活発になり利用者が増えた。利用者が増えすぎると、作り手や調理場の限界により利用者数を調整せざるを得ない状況が訪れてしまう。作り手を増やそうにも、既に他の地域活動を行っているケースが多く増えにくい。				

(1204)地域福祉救援活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉救援活動事業	福祉救援活動事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期繰越			計
	307,000	144,000			451,000
支出(円)	事業費	事務費			計
	183,000	268,000			451,000
事業概要	災害に備えた研修への参加。また、災害発生時は災害対応のための資金調達や災害ボランティアセンターの立上げ・運営、さらには職員を現地に派遣する				
事業計画	令和6年1月1日に起きた能登半島地震に伴い、被災地へ職員の派遣を行う。(令和6年1月中旬から1名派遣済み) 長期化が予想されるため、県社協からの要請に基づき派遣。 勝山市災害ボランティアセンター連絡会を活用し、災害対策のための研修や訓練を積み上げる。SNSの活用、いち早い情報伝達方法を常に検討し、災害に備える。災害が起きても事業を継続することができるよう、BCP(事業継続計画)の策定				
事業目標	被災地への派遣。 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施。災害ボランティアセンター運営ガイドラインの周知、災害ボランティアコーディネータの養成 BCP(事業継続計画)策定				
見込み成果	隣県が被災しているため、県社協主導の元、職員の派遣を行い、災害時の対応を経験として積み、自社協で生かす。 運営ガイドラインに沿って繰り返し訓練を行うことで、有事に備えられる。SNS等を活用することで、スムーズな対応が期待できる。また、勝山市、青年会議所、ライオンズクラブと協定を通して災害時の支援活動を迅速かつ効果的に進めることができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1206)住民参加型在宅福祉サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	住民参加型在宅福祉サービス	住民参加型在宅福祉サービス和美さん	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	前期末繰越金			計
	0	73,000			73,000
支出(円)	過年度修正額	サービス区分間繰出し金支出			計
	10,000	63,000			73,000
事業概要	住民の相互扶助を推進することを目的に、サービスを有料制で行い、在宅福祉の増進を図る				
事業計画	勝山市民を対象に登録制を取る。制度を区切ることなく公的サービスでは補いきれない部分や、子育て支援の部分等に対応していく				
事業目標	担い手確保のため、事業のPRに注力する				
見込み成果	市民力を活用して相互に助け合える仕組みを持続させることができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1207)地域ふれあいサロン事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金				計
	4,724,500				4,724,500
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	450,000	324,000	3,950,500		4,724,500
事業概要	高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まれる場所の提供				
事業計画	地区社協若しくは集落単位、近隣住民で地域特性を活かしながら、サロンを実施する				
事業目標	楽しさ、生きがい、社会参加、見守り・見守られる場の提供				
見込み成果	地域の見守りの場、フレイル予防としての効果が期待できる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1208)日常生活自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金	利用料	独自事業	前期末繰越金	計
	7,380,000	1,218,000	1,000	681,000	9,280,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	計
	8,623,000	559,000	98,000	0	9,280,000
事業概要	自立して地域で生活が送れるよう、福祉サービス利用援助(手続き等)や日常的な金銭管理などを支援する。当法人が、越前信用金庫の貸金庫利用契約をし、日常的に出し入れしないような利用者の預金通帳等は貸金庫を利用し、預かる。				
事業計画	日常的金銭管理、相談、支援。関係機関との連携。生活支援員の資質向上研修 サービス利用料 1時間 1,200円 貸金庫利用料 1ヶ月 500円				
事業目標	本人の自己決定を支援し、生活意向を尊重しながら、より豊かに生活が送れるよう支援していく。成年後見制度への移行についても家族や関係機関と相談しながら支援していく。				
見込み成果	社協が支援しているという信用で、業者が利用者との取引を継続し、地域も見守りを続けてくれる。その結果、多少認知症状の進行や暮らしの不自由さがあっても、安心して地域で暮らし続けられる。				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1209)福祉総合相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲	
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)	
収入(円)	市受託金				計	
	1,508,000				1,508,000	
支出(円)	人件費	事業費			計	
	309,000	1,199,000			1,508,000	
事業概要	法律、労働、年金の専門相談を実施。一般相談は職員が随時対応し、専門機関につなげる					
事業計画						
	相談名	対応者名	開催曜日	予約の有無	開催時間	
	年金・労務相談	社会保険労務士	第1水曜日	×	午前9時30分	～ 午後1時
	法律相談	弁護士	第2水曜日	○	午後1時30分	～ 午後4時30分
			第4水曜日	○	午前9時	～ 午後1時
	心配ごと相談	社協職員	月～金	×	午前9時	～ 午後5時
	夜間相談	社協職員	毎週水曜日	○	午後6時	～ 午後8時
事業目標	総合相談窓口として、区切ることなく、あらゆる相談に対応する。受付けた事案を必要な関係機関につなげ、本人の困りごとの解決に結び付ける					
見込み成果	①弁護士不在の当市においては、身近で弁護士相談が受けられ、安心につながる ②相談種別を分けずに総合相談として受け、世帯の困りごとを把握、関係機関等へつなげることで、本人が安心して暮らせる ③相談を専門相談や関係機関へ結び付け解決を図る					
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。					

(1211)家族介護支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	33,000				33,000
支出(円)	事業費				計
	33,000				33,000
事業概要	介護の専門職を対象家庭に派遣し、介護の悩みや介護方法を専門職として助言する事業				
事業計画	家庭に訪問し、家族に対し介護に関する知識・技術の指導や相談を行う。				
事業目標	適切なケアの指導を行い、訪問介護を周知し在宅介護を支援する。				
見込み成果	①介護方法が学べる ②介護の専門家による相談を行うことで気持ちが楽になり、虐待防止につながる ③訪問し社協の事業、ヘルパーの仕事への理解が深まる。				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1212)訪問型サービスA事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	訪問型サービスA事業	訪問型サービスA事業	第1層(全市)
収入(円)	市委託事業	利用料			計
	69,000	7,000			76,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	35,000	41,000			76,000
事業概要	介護認定の対象とならないが、勝山市が家事の一部援助が必要と認めた方への必要な家事支援				
事業計画	介護認定で自立と認定された方で、勝山市が家事援助を必要と認めた方に家事支援サービスを行う。本人の意欲を引き出し、地域での生活が継続できるよう、定期的に訪問し、支援サービスと共に必要なアドバイスをする				
事業目標	自ら家事を行うことができ、自立した生活が継続できる。				
見込み成果	自立した生活が継続できる。関係機関と連携を取り地域での生活が継続できる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1301)ボランティアセンター運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	チャリティ映画	その他	法人運営より	計
	5,000	100,000	1,000	119,000	225,000
支出(円)	事業費				計
	225,000				225,000
事業概要	ボランティアセンター運営委員会の運営。企画・広報部会の開催。日々、ボランティア活動団体、個人の依頼・活動相談に対応。様々な機関からの活動に対する相談対応。ボランティア活動保険の窓口となる				
事業計画	①ボランティアセンター運営委員会 全体会(年2～3回)の開催。運営委員会にはアドバイザーを設置し、適宜アドバイスを受けながら進める。詳細な事業については企画部会(年1回)、広報部会(年1回)で協議しながら進める。 ②ボランティアセンター運営委員には、勝山高校生の参加があり、高等学校との連携を図る ③ボランティアセンターキャラクター「ココドン」を使い、センターの認知度を上げる(ストラップ、ファイル、シール、付箋などの物品販売) ④チャリティー映画会の開催				
事業目標	勝山市で暮らすあらゆる世代の「つながる力」を育んでいくために、ボランティアセンター運営委員会で活発な意見交換を行い、地域を基盤としたボランティア活動等が行えるよう努める。ボランティア活動中の事故に対応するため、ボランティア活動保険の加入を勧める。また、事故が発生した時の迅速な対応に努める				
見込み成果	・勝山市内のボランティア活動(登録)者、一般市民等を対象に「ボランティア」「福祉」等についての知識や、関心をもってもらう。 ・各関係機関や幅広い世代が共に学び、地域が「つながる力」を育む事業等を企画・運営する。 ・ボランティアセンターキャラクター「ココドン」を通して勝山ボランティアセンターの周知を図る。				
R6振り返り(課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1302)預託配分事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	預託配分事業	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	前期繰越金			計
	30,000	120,000			150,000
支出(円)	助成金				計
	150,000				150,000
事業概要	市民からの寄付金・物品の受入、払い出し。市内で火災が発生した際に見舞金を払い出す				
事業計画	寄付金品の受入、払い出しについては、寄付者の意向に沿う				
事業目標	寄付者の意向に沿った取扱い				
見込み成果	迅速に対応することで、払い出し先のニーズに合った支援ができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1304)つながりの輪づくり推進支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	つながりの輪づくり 推進事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	0				0
支出(円)	事業費				計
	0				0
事業概要	ボランティアセンター運営委員会を中心につながりづくりを推進する				
事業計画	県の助成金が終了したためこの事業については終わるが、内容については、他の事業に継承していく				
事業目標					
見込み成果					
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1305)地域いきいきボランティアポイント事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,650,000				1,650,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	1,288,000	162,000	200,000		1,650,000
事業概要	高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進するために、高齢者に関するボランティア活動をポイント制にし、集まったポイントを商品券などに換金する				
事業計画	40歳以上の市民の方(介護保険料の未納者は対象外)に登録を呼びかける。活動先の紹介をし、ボランティア活動を行ってもらう。広報や研修の場などで事業のPRを行い、登録者を増やす。登録者への研修を実施し、活動の幅を広げる				
事業目標	研修会開催をきっかけに若年層の新たなボランティアの発掘と活動の場を広げる。ボランティア受け入れ側への説明も随時行う				
見込み成果	ボランティア活動を社会参加と捉え、自身の健康寿命の延伸に意味があることを理解することで、ポイントの獲得にとどまらず、有意義な活動が行える				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				



(1404)福祉育成・援助活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉育成 援助活動事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	共同募金			参加費収入	計
	1,455,000			36,000	1,491,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	160,000	1,331,000			1,491,000
事業概要	すこやかフェスタを開催し、福祉や健康、地域に興味を持ってもらえる機会にする。ボランティア活動や、地域福祉活動が顕著な方を対象に、勝山市社会福祉協議会長表彰を行う。赤い羽根共同募金の助成を受けて行う事業				
事業計画	すこやかフェスタ実行委員会を設置し、企画運営を行う。R7年度も時期と会場を変えずに10月上旬の土曜日(10/11)にジオアリーナで開催する予定。本年度も多くの集客が予想されるため、社協や福祉を感じてもらい良い広報の機会と捉えてイベントや出店ブースを考える。また、赤い羽根共同募金の財源で行うため、理解促進の啓発を行う。勝山市社会福祉協議会長表彰を行う				
事業目標	幅広い世代が参加し、福祉や地域のことを身近に感じてもらう企画を考える。勝山市社会福祉協議会会長表彰は各団体より推薦をいただき、表彰委員会で決定し、表彰していく。赤い羽根共同募金が財源であることを見える化し、募金に関する理解を促進する				
見込み成果	すこやかフェスタを開催することで、出店者も来場者も市内の幅広い世代、地区の団体、事業者が集まる。これにより地域全体が活気づき、福祉や地域への関心も高まる。また、赤い羽根共同募金への理解が深まる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1405)歳末たすけあい配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期繰越金			計
	1,850,000	350,000			2,200,000
支出(円)	事業費	配分金事業			計
	700,000	1,500,000			2,200,000
事業概要	民生委員に要援護世帯調査を依頼。準要保護世帯については教育委員会に協力を要請する。対象となる援護を要する世帯から申請を受け、個別配分の可否を委員会で審査し、可世帯に対し個別配分を行う。その他の配分先は、「歳末たすけあい配分委員会」で検討、決定される				
事業計画	配分委員会を開催(年2～3回)し、申請のあった世帯を対象に民生委員を通じて個別配分を実施する。個別配分申請においては、広く市社協広報誌でも周知を図る。歳末たすけあい募金の適切な配分方法について十分に検討していただく。また、生活困窮自立支援相談との連携を図る。社会状況の変化に合わせた配分ルールの検討。また、歳末に向けて地域で取り組めるレクリエーションを取り入れ大会を開催する。				
事業目標	あたたかい年末年始を過ごせるように支援する。表面化していないケースを拾い上げる。市民の方々からの寄付を大切に届ける				
見込み成果	援護を要する世帯の把握ができ、配分金を届けることができる。必要に応じて関係機関につなげることができる				
R6振り返り(課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1406)ボランティア活動育成事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア活動育成事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金配分金	前期末繰越金			計
	176,000	41,000			217,000
支出(円)	事業費	助成金			計
	167,000	50,000			217,000
事業概要	ボランティア活動者(登録者)等を対象にボランティア活動や地域の貢献について、学びの場を提供する				
事業計画	市内のボランティア活動者(登録者)、民生委員、いきいきボランティア登録者等を対象に「ボランティア研修会」を開催する。テーマは、活動に直接結びつくことや、生きがい、地域の結びつきなど。また、ボランティア同士の交流を図るため、「ボランティア団体交流会」を開催する。いずれも、ボランティアセンター運営委員会企画部会で意見を出し合い企画する				
事業目標	現在の活動の研鑽の場として、更なるスキルアップを目指すことができるよう、委員の意見等を吸い上げながら見合う講師を選定する。活動者同士が交流することで、活動への意欲が向上し、お互いを気にし合う関係となれるよう、企画していく				
見込み成果	ボランティアセンター運営委員会企画部会で話し合いを持ち、住民からの意見を反映させることができる。新たなボランティア活動者を発掘することができる。ボランティア活動者の養成、ボランティア活動者のスキルアップ、ボランティア活動者同士の情報交換の場ができることで、より活動が活性化する				
R6振り返り(課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1407)法外・災害援護配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	法外・災害援護 配分金事業	法外・災害援護 配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	県共同募金	前期末繰越金			計
	30,000	3,000			33,000
支出(円)	助成金				計
	33,000				33,000
事業概要	行路者・火災被災者へ、見舞金等を渡す				
事業計画	火災被災者に見舞金を渡す				
事業目標	火災状況を把握し、迅速に対応し火災被災者に見舞金を渡す				
見込み成果	火災被災者に見舞金を渡す				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1408)まちなかCafé事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	まちなかCafé 運営事業	まちなかCafé 運営事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	907,000				907,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	384,000	523,000			907,000
事業概要	社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置する。運営は「まちなかcafé運営委員会」が協議し、行う。また、社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける。赤い羽根共同募金の配分を受ける				
事業計画	対象者に制限を設けず、月曜日～土曜日の午前10時～午後5時まで勝山サンプラザ2階に集まれる場所を開き、運営する(ただし火曜日、日曜日は定休)。社協職員やボランティアが常駐し、来客の相談や話し相手になる。財源が赤い羽根共同募金であることもPRし、募金への協力も呼びかける				
事業目標	誰もが気軽に立ち寄れ、気楽に話や相談ができる場づくり。深刻な問題や相談は、関係機関につないでいく。赤い羽根共同募金への理解を促進する				
見込み成果	高齢者だけでなく、市民誰もが立ち寄ることのできる場として提供することで様々な生活ニーズをキャッチできる。気軽に相談できる身近な場としての定着。障害や高齢に関わらず、自立ディサービスの役割を果たすことで、社会性を保ち、介護・フレイル予防となる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1409)貸出事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																																																			
	法人運営事業	共同募金配分事業	貸出事業	貸出事業	第1層(全市)																																																																			
収入(円)	共同募金	負担金	前期末繰越金		計																																																																			
	160,000	69,000	207,000		436,000																																																																			
支出(円)	事業費	事務費			計																																																																			
	391,000	45,000			436,000																																																																			
事業概要	赤い羽根共同募金の配分を受け、車椅子対応の福祉車両、福祉用具、介護機器、チャイルドシート、ジュニアシート、ベビーカーの貸し出しを行う。また、それらの車両や機器等の維持管理、借用者に対しての借用更新手続きなどの連絡調整を行う																																																																							
事業計画	<table><tr><th>物品名</th><th>貸出期間</th><th>利用料</th><th>更新料</th><th>備考</th></tr><tr><td>リフト付き車両（ハイエース）</td><td rowspan="2">時間単位</td><td>～10kmまで200円 以降10kmで200円ずつ加算</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">事前申請必要</td></tr><tr><td>リフト付き車両（タント）</td><td>～10kmまで100円 以降10kmで100円ずつ加算</td></tr><tr><td>車椅子（長期）</td><td>1年</td><td>1,000円</td><td>500円</td><td></td></tr><tr><td>車椅子（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>100円</td><td>100円</td><td></td></tr><tr><td>介護用ベッド</td><td>—</td><td>新規貸し出し中止</td><td>—</td><td>更新終了</td></tr><tr><td>歩行器</td><td>1年</td><td>500円</td><td>200円</td><td></td></tr><tr><td>四点杖</td><td>1年</td><td>500円</td><td>200円</td><td></td></tr><tr><td>チャイルドシート（長期）</td><td>1年</td><td>5,000円</td><td>2,000円</td><td></td></tr><tr><td>チャイルドシート（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>1,000円</td><td>1,000円</td><td></td></tr><tr><td>ジュニアシート（長期）</td><td>1年</td><td>5,000円</td><td>2,000円</td><td></td></tr><tr><td>ジュニアシート（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>1,000円</td><td>1,000円</td><td></td></tr><tr><td>ベビーカー（長期）</td><td>1年</td><td>5,000円</td><td>2,000円</td><td></td></tr><tr><td>ベビーカー（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>1,000円</td><td>1,000円</td><td></td></tr></table>					物品名	貸出期間	利用料	更新料	備考	リフト付き車両（ハイエース）	時間単位	～10kmまで200円 以降10kmで200円ずつ加算	—	事前申請必要	リフト付き車両（タント）	～10kmまで100円 以降10kmで100円ずつ加算	車椅子（長期）	1年	1,000円	500円		車椅子（短期）	1ヶ月	100円	100円		介護用ベッド	—	新規貸し出し中止	—	更新終了	歩行器	1年	500円	200円		四点杖	1年	500円	200円		チャイルドシート（長期）	1年	5,000円	2,000円		チャイルドシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円		ジュニアシート（長期）	1年	5,000円	2,000円		ジュニアシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円		ベビーカー（長期）	1年	5,000円	2,000円		ベビーカー（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円	
	物品名	貸出期間	利用料	更新料	備考																																																																			
	リフト付き車両（ハイエース）	時間単位	～10kmまで200円 以降10kmで200円ずつ加算	—	事前申請必要																																																																			
	リフト付き車両（タント）		～10kmまで100円 以降10kmで100円ずつ加算																																																																					
	車椅子（長期）	1年	1,000円	500円																																																																				
	車椅子（短期）	1ヶ月	100円	100円																																																																				
	介護用ベッド	—	新規貸し出し中止	—	更新終了																																																																			
	歩行器	1年	500円	200円																																																																				
	四点杖	1年	500円	200円																																																																				
	チャイルドシート（長期）	1年	5,000円	2,000円																																																																				
	チャイルドシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円																																																																				
	ジュニアシート（長期）	1年	5,000円	2,000円																																																																				
	ジュニアシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円																																																																				
	ベビーカー（長期）	1年	5,000円	2,000円																																																																				
	ベビーカー（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円																																																																				
事業目標	貸出機器のメンテナンスや清掃管理を適切に行い、気持ちよく利用していただく。赤い羽根共同募金の配分を受けて行う事業であることの周知に努め、赤い羽根共同募金への理解を図る。使用方法についても丁寧な説明に努め、安全に利用していただく。																																																																							
見込み成果	貸出機器の使い道には制限を設けず貸出しすることで、本人や介護（育児）者の負担が軽減され、外出の行動範囲が広がる。必要時に借りることで購入や維持の負担軽減を図ることができる。介護認定の有効期間の長期化や軽度の認定者が増えており、今後も車椅子の需要はあると思われる。																																																																							
R6振り返り（課題）	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。																																																																							



(1410)福祉教育推進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉教育推進事業	福祉教育推進事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	県社協補助金	その他		計
	645,000	100,000	2,000		747,000
支出(円)	事業費	事務費	助成金		計
	299,000	58,000	390,000		747,000
事業概要	赤い羽根共同募金の配分を受け、市内小中学校の福祉教育に助成金を交付する。学校や地域で福祉教育を推進する。小学校4年生(福祉を学ぶ学年)を対象とした「福祉学習交流会」の開催、全小中学校の訪問、各学校への講師派遣等の調整業務を行う				
事業計画	●各小中学校への助成金の配分 上限30,000円(申請方式) ●小学校4年生を対象とした「福祉学習交流会」の開催。企画はボアランティアセンター運営委員会企画部会が行う ●全小中学校を訪問し、担当教諭との福祉教育に関する打ち合わせやイメージの共有、プログラム作りを丁寧に行う ●講師派遣、地域資源とのつなぎ、その他関係機関との調整 ●福祉教育の情報共有を図るため、取り組みの振り返りと報告書の作成を行い、活動を可視化する				
事業目標	ふくしは「ふ:だんの、く:らしの、し:あわせ」であり、特別なことではなく、住民誰もが対象になりうる事の理解を促進する。イベント式のプログラムではなく、1年を通じてつながるプログラム編成にしていく為に、担当教諭との綿密な打ち合わせを行う。また、「障害」や「高齢」は特別なことではなく、お互いに尊敬しあえる仲間であることに気づき、誰をも排除することなく「共に生きる力」を育てる。プログラムにはできるだけ地域資源を活用し、たくさんの方々を巻き込んでいく				
見込み成果	自分も一地域住民であるとの自覚を持ち、「自分(自分達)にも何かできないか」を考えることで、自分も、他者も大切にし、自己肯定感を高めることができる。また、たくさんの地域資源を知り、「助け合いながら暮らしている」ことを理解することができる				
R6振り返り(課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1411)子育て世帯支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	子育て世帯支援事業	子育て世帯支援事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金配分				計
	763,000				763,000
支出(円)	事業費	助成金支出			計
	620,000	143,000			763,000
事業概要	日常生活において困難を抱えている家庭や、経済的に困窮・孤立化を余儀なくされている家庭等を支援するためフードドライブに取り組む。小中学生からWAKU-WAKUレンジャーを募集し、レンジャーが主体となり小中学生が楽しめる企画を運営・実施する。				
事業計画	フードドライブを通して集まった食材などをひとり親世帯や気がかりな世帯へ主任児童委員等の力を借り、配りながら困りごとを聞き取る。小中学生からWAKU-WAKUレンジャーを募集し、小中学生がWAKU-WAKUできる企画を考え、実施することでレンジャーが自分たちの地域を考え成長する機会と市内全域の小中学生が楽しめる機会を提供する。				
事業目標	対象家庭との信頼関係の構築や関係機関へつなぐ。 子どもが子どものための企画を考え、運営することで市内の子ども達に楽しんで地域を好きになってもらいたい				
見込み成果	食材配布をきっかけとして、家庭状況の困りごとや悩みごとを聞き取り関係機関につなぐ。聞き取った内容から社協が地域課題として取り組む材料となる。 WAKU-WAKレンジャーが中心となり、楽しめる企画を考え運営することで子どもが楽しくまちづくりに参加する機会につながる。				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1501)生活福祉資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	432,000				432,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	169,000	263,000			432,000
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図る				
事業計画	相談、受付け、審査会の開催。県社協、民生委員との連携による償還指導等を実施する。また、生活困窮者自立支援センターと連携をとりながら取り組む。				
事業目標	世帯が力をつけ、自立できる支援。職員の相談カスキルアップ				
見込み成果	単なる貸付ではなく、その世帯が力をつけて自立でき、償還につなげる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1502)小口資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	償還金	法人運営より			計
	400,000	3,000			403,000
支出(円)	事業費	貸付金			計
	3,000	400,000			403,000
事業概要	当座の資金不足により生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業計画	一時資金の貸し付け限度額30,000円。保証人不要。資金借入相談により必要に応じて、資金繰りの相談を行う。必要があれば他機関との連携により支援を行う。返済が滞っている人には状況を把握し返済方法などの相談に努める				
事業目標	生活困窮に陥らない支援				
見込み成果	高金利ローンの借入が防げる。また、相談支援を行うことで他の困りごとなどの発見も行え、他機関との連携で、生活困窮に陥らない支援も行うことができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1503)特例貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	3,250,000				3,250,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	3,008,000	242,000			3,250,000
事業概要	令和2年3月～令和4年9月末まで行われた、生活福祉資金のコロナ特例貸付の返済が令和5年1月から始まった。返済が行われていない借受人に対し、状況把握し、償還の促しや償還猶予申請の説明などを行う。				
事業計画	コロナ特例貸付(緊急小口貸付、総合支援資金)の償還業務並びにフォローアップに、生活困窮者自立支援センターと連携をとりながら取り組む。				
事業目標	償還に至っていない借受人については状況把握し、生活困窮者自立支援センターと連携しながら、今後の見通しを立てる。 職員の相談カスキルアップ				
見込み成果	コロナの影響で、生活苦からの脱却ができたかどうかの把握。				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(0601)生活困窮者自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	生活困窮者 自立支援事業	生活困窮者自立相談 支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	12,218,000				12,218,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	9,546,000	1,516,000	1,156,000		12,218,000
事業概要	生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける				
事業計画	生活保護に至らないようにするために生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施した。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていく				
事業目標	スモールステップにより成功体験を積み、自立に向かう支援を行う。支援調整会議・支援会議の開催にて困窮情報を関係機関などと共有する				
見込み成果	生活に困っている方が相談しやすいように制度の周知・啓発を図る。支援会議の開催にて困窮者情報を一元化し、アウトリーチ活動を行える				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(0602)生活困窮者自立支援・就労準備支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	就労準備支援事業	就労準備支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	4,043,000				4,043,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	3,087,000	550,000	406,000		4,043,000
事業概要	「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行う				
事業計画	生活保護に至らないように生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていくことに努める				
事業目標	1年間を期限として働くまでの土台作りを行い、就労意欲を整え就労に結びつける				
見込み成果	土台作りを行い就労意欲を高め社会参加・自己実現ができるようになる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(0603)生活困窮者自立支援・家計改善支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	家計改善支援事業	家計改善支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	4,500,000				4,500,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	3,519,000	526,000	455,000		4,500,000
事業概要	自立相談支援機関において、経済的な問題に背景がある相談者に対して家計の視点から相談支援を行う。家計改善・家計再生プランを作成し、自ら家計を管理する意欲、能力を高め、経済的困窮より脱却できるよう支援していく				
事業計画	生活保護に至らないように「第2のセーフティーネット」として生活困窮者に対して包括的な支援を実施する。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていく				
事業目標	家計が見える化し、家計を管理する意欲・能力を高め、経済的困窮から脱却する				
見込み成果	収支の見直しを行うことで無駄を省き、生活を保ちながら貯蓄ができるようになる。債務を抱えた方に対しては返済計画を立てることで、借金の解消が図れる。結果、安定した生活を送れるようになる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(0701)生活支援体制整備事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	10,316,000				10,316,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	助成金	計
	1,387,000	671,000	38,000	8,220,000	10,316,000
事業概要	助け合う地域づくりに向け関係機関ネットワーク会議の開催、生活支援コーディネーターの設置、地域の課題解決の場と新たなサービスを構築をする。併せて、まちなかCaféを核にした支援を考える				
事業計画	1層の生活支援コーディネーターを1名配置(市社協)し、全市を対象とする。2層の生活支援コーディネーターを11名配置(地区社協コーディネーター)し、各地区単位を対象として活動する。地区社協ごとの話し合いを進めながら、研修を実施する。市域を対象とした協議体を開催し、地域の課題出し、その対策に関係者を集めて協議する。こども食堂などの地域の居場所づくりが促進されるよう、セミナー開催や創設に向けた相談対応による支援を行う。				
事業目標	第2層の圏域ごとに地域の課題について話し合う場を持つ(全域にて実施) 第1層協議体の開催				
見込み成果	地域の課題を我が事に捉え、前向きな話し合いや解決方法を探る。そのことを通して、行政に頼らなくても進む小地域ごとの福祉のまちづくりを目指す 地域課題に対して、社協や行政だけでなく、関係者を含めて協議することで、地域全体で課題に取り組む				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1601)老人ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)
収入(円)	介護保険	利用料	その他助成金		計
	24,801,000	4,026,000	10,000		28,837,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	拠点区分繰出し	計
	21,177,000	2,763,000	349,000	4,548,000	28,837,000
事業概要	介護保険法に基づくホームヘルプ事業の実施		令和7年度 ヘルパー職場内研修計画		
			研修会月1～2回		
事業計画	要介護認定を受けた方に対し、訪問介護サービスを提供する。ヘルパーの質を向上させるため、月1回の認知症や皮膚疾患・食生活などの高齢者特有の症状に合わせた研修を行い、質の良いサービス提供を行う。また、災害時の備えと、その時、ヘルパーとしてどう動くのかといった研修を重ねる。また、外部研修会へ積極的に参加する		月	研修内容	参加者
			4月	令和7年度事業説明	全員
				倫理要領と法令遵守について	
				プライバシーの保護について	
				接遇研修	
			5月	感染症対策について	全員
				食中毒と衛生管理について	
				介護食作りなど	
			6月	障害研修(身体拘束・虐待等)	全員
			7月	BCP対策研修	全員
			9月	介護技術	全員
			10月	認知症研修(虐待・身体拘束)	全員
			11月	救急法	全員
			1月	介護技術	全員
			2月	ケース検討会	全員
手順書見直し					
3月	研修報告	全員			
	1年のまとめ・反省				
	(ヒヤリハット・苦情受付)				
事業目標	災害時の対応について、計画し周知を行う。また、基本の介護を再度学ぶ			* 新規採用時の初任者研修及び1ヶ月・3ヶ月・1年研修は随時行う	
				* 急遽困難事例があった場合は、随時担当ヘルパーでの個別検討を行う	
				* 個別の研修の日時については、調整し個々に受講する	
				* 職場内研修には伝達会議を行う	
見込み成果	住み慣れた家で自分らしく暮らしていける、サービスを提供することができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1602)あんしんサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	あんしんサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	事業収入				計
	120,000				120,000
支出(円)	人件費				計
	120,000				120,000
事業概要	施設利用の方が一時帰宅されたとき、または、介護保険対象外の方や、障害サービスで認められてないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する				
事業計画	自立した日常生活を営むことができるよう援助を行うことにより総合的サービスの提供に努める、ヘルパーの質を向上させるため、質のよりよいサービス提供を行う。月1回研修会を行って行く。				
事業目標	適正なサービスの提供				
見込み成果	住み慣れた家で安心して暮らせる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1701)介護予防支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護予防支援	予防ケアマネジメント	第1層(全市)
収入(円)	介護保険				計
	348,000				348,000
支出(円)	事業費				計
	348,000				348,000
事業概要	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施				
事業計画	事業対象者、要介護認定にて要支援1・2と認定された方に対し、介護予防することを目指しマネジメントをする。				
事業目標	本人・家族の思いに寄り添い、介護状態にならないように予防し、地域にて自立した日常生活を送れるように支援をする。また、介護保険報酬改正に伴い、指定介護予防支援事業所の申請を行い、契約に基づき支援を実できるよう検討する。				
見込み成果	介護予防を行い、地域においてその人らしい暮らしを支援することができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1702)介護給付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護給付	介護給付	第1層(全市)
収入(円)	介護保険	階層区分繰入	施設整備等	その他の活動	計
	20,063,000				20,063,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	拠点区分繰出し
	14,789,000	2,727,000	206,000		2,341,000
					計
					20,063,000
事業概要	介護保険法に基づき、利用者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づき、適切な居宅介護支援サービスを提供する				
事業計画	65歳以上で要介護状態の方、40歳～64歳で特定疾患(16種類)が原因で認定を受けた方を対象に住み慣れた地域で自立した生活を送れるようにマネジメントを実施する。				
事業目標	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				
見込み成果	利用者・家族に寄り添い、その人らしい暮らしを支援することができる。多くの問題を抱えたケースに対しても、他機関と連携・協働にて対応し生活を支えることができる。市内居宅事業所内のケアマネ数が減少している為、ケアマネを探すことが大変になっている中、採用者を確保し介護を必要とする方がスムーズにケアマネジメントを受けられる				
R6振り返り(課題)	介護支援専門員1名の中途退職に伴い3名体制となり、特定事業所加算Ⅱ(1件4,210円/月)→Ⅲ(1件3,230円/月)へ変更となった。それに伴い、他事業所へ11件引継ぎを行った。だが、今年度より特別地域加算(15%)の対象地域となったため、当初予算よりわずかに減少にとどまることができた。				

(1703)要介護認定調査事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	要介護認定調査事業	要介護認定調査	第1層(全市)
収入(円)	介護保険				計
	116,000				116,000
支出(円)	事業費				計
	116,000				116,000
事業概要	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者を調査し、市へ調査票を提出する				
事業計画	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者の調査を市から委託を受けて行う				
事業目標	認定調査の項目基準に基づき、公平公正に実施ができるよう、認定調査員の質の向上を図っていく				
見込み成果	研修等に積極的に参加を行い、項目基準に基づいた調査を実施できるように研鑽に努める。				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1801)身体障害者ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	国補助金	自立支援給付費	利用料	受託事業	施設整備
		19,656,000	216,000	264,000	20,136,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	拠点区分繰出し	
	17,668,000	1,138,000	133,000	1,197,000	20,136,000
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)。計画以外のサービスを希望される方を対象に「あんしんサービス(30分1,000円)」の実施				
事業計画	在宅で生活されている障害者(児)の方に個別支援計画に沿って、住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活全般への支援を実施する。本人の特性、こだわり、生活スタイルに寄り添った支援の実施、併せて重度障害者への研修を受ける。また、内部研修会、外部研修を行い、質の向上を図り、同行援護研修修了者を増やす。				
事業目標	住み慣れた地域での生活を継続できるための寄り添い支援				
見込み成果	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				
R6振り返り (課題)	親亡き後のケースでは、不安を抱えないように寄り添い、生活面の維持ができるように支援することが課題である。社会参加、移動支援が困難なケースで、移動支援サービスの利用が多くあった。ヘルパーの不足であるが、同行援護資格者が少ない中、1名取得し、視覚障害の方の外出の機会が増えればと考える。移動支援、同行援護では満足していただけるようサービス提供人材確保が課題である。				

(1802)障害者計画・相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	自立支援給付	障害児給付	受託事業		計
	4,000,000	844,000	115,000		4,959,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	拠点区分繰出し	計
	4,274,000	589,000	39,000	57,000	4,959,000
事業概要	障害児・者の自立した生活を支え、課題解決やサービス利用のケアマネジメントを行う				
事業計画	障害者(児)からの相談、インテーク、アセスメントから計画を立て、調整会議を実施し、初回計画から3か月と半年に1度のモニタリングにて計画の見直しなど適切な支援を行う				
事業目標	障害を持つ方が安心して生活を送ることができるように本人の希望に沿いながら他機関やサービス提供者と連携を取る				
見込み成果	障害を持つ方が安心して生活を送ることができるようになる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				

(1901)障害者相談支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	5,181,000				5,181,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	4,606,000	100,000	475,000		5,181,000
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。また、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業計画	障害者(児)、障害があるかもしれない方を対象に相談、支援し関係機関との連携を図る。また、相談から探る地域課題を浮き彫りにする				
事業目標	身近に相談できる環境を作り、必要に応じて訪問する				
見込み成果	障害者(児)、または保護者の方から気軽に相談できる場の提供				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				



(1902)障害者社会参加促進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	参加費			計
	300,000	9,000			309,000
支出(円)	事業費				計
	309,000				309,000
事業概要	地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域での障害理解が進み、権利擁護できるように事業を通じて働きかける				
事業計画	障害を持つ方や支援者等に対し、障害者自身のスキルアップと社会参加への促進を図る。家族へは障害理解や対応方法を学ぶ機会の提供、地域へは障害理解の啓発、障害者の後見等権利擁護に関する研修の実施。毎週月・水(13:00~17:00)たまり場(誰でも集える場)の開催。リニューアルしたサンプラザ2階の「サン・キッチン」を活用し、定期的に料理教室を開催していきたい				
事業目標	誰もが安心して暮らせる地域づくり。イベント型から定期開催型へ移行し、生活に直接役立てていけるような取り組みを行う				
見込み成果	障害があっても自宅で住み続けられる地域づくりや社会参加の促進。気軽に外出できる場所の確保。親亡きあとも暮らし続けられるような生活スキルが身に着く				
R6振り返り(課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				



(2100)勝山市社協成年後見センター「ささえ愛」事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協 法人後見事業	サポートセンター 「ささえ愛」	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	事業収入	前期末繰越金		計
	150,000	2,000,000	1,988,000		4,138,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	拠点区分繰出し	計
	3,551,000	319,000	30,000	238,000	4,138,000
事業概要	何かしら障害があっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための相談・支援				
事業計画	ささえ愛運営委員会の運営。日常生活自立支援事業利用者等を対象に相談や申し立て支援。法人後見人として受任を行う。また、職員の資質向上に努める				
事業目標	住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるための支援を行う				
見込み成果	今後ますます本制度の利用が見込まれる。法人後見人としてささえ愛運営委員会で承認されれば、後見候補者として家庭裁判所に申し立てを行い、受任をしていく。後見報酬(収入)が見込めるケースもある。受任することで被後見人が今までの生活を大きく変化させることなく暮らし続けることができる				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				



(2200)社協喫茶経営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	喫茶経営	第1層(全市)
収入(円)	売上金	受取利息	運用資産取崩し		計
	1,824,000	1,000	591,000		2,416,000
支出(円)	人件費	仕入れ	事業費	事務費	計
	1,115,000	950,000	336,000	15,000	2,416,000
事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者の憩いの場として、創意工夫を重ね飲食の提供を行い、経営の安定を図る				
事業計画	「すこやか」の一般市民への会館利用が再開されるため、一般市民への提供を広く広報する。経営安定を図るために、より多くの市民に利用していただくため、創意工夫を重ねながら営業する				
事業目標	集客のための周知、メニューの考案、テイクアウト商品等の検討				
見込み成果	周知をすることで、利用者、売り上げ増が見込める				
R6振り返り (課題)	喫茶運営委員会を開き、運営状況等を話し合い、メニューの見直しを行った。自動販売機の設置にかかる電気料金の支払いなど経費が掛かり増した。				



「玉子丼」